

桜塚小学校だより 10月号

平成29年(2017年)10月4日
豊中市立桜塚小学校
校長 原野 裕章

今年度も半分が過ぎました。もう半分も過ぎてしまったんですね。この時期になると、ぼちぼち来年度に向けての話も出始めます。ニュースによりますと、企業によっては、来年度就職の内定式が行われているようです。今年は人手不足で売り手市場だとも言われていますが、今の子ども達が就職する頃には、どんな社会情勢になっているのかなと思います。にわかに降って湧いた様な国政選挙がありますが、われわれ大人の選択が、子ども達の将来を決める、大切なものになるのでしょう。

敬老の集い

9月16日
(土) 本校体育館

で「敬老の集い」が実施されました。台風の接近が危惧される中でしたが、無事に開催されました。本校からは1年生が「そうだったらいいのにな」と「真っ赤な秋」の歌で出演しました。また、桜塚こども教室からも、チアダンスの「ピンクエンジェルズ」も出演しました。



修学旅行の取り組み

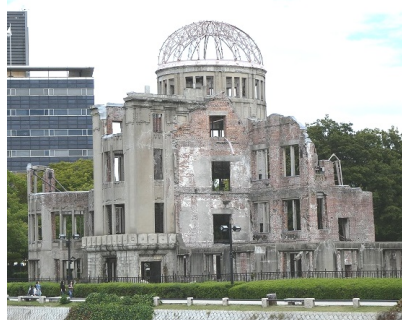
9月28日(木)29日(金)の2日間、6年生が修学旅行に行きました。修学旅行の取り組みは、当日の実施だけでなく、まず広島へ行くまでに平和について学習します。そして、全校生に呼びかけて、折り鶴を折ってもらい、それを作品に

仕上げて、平和記念公園の

「原爆の子の像」に捧げてきます。修学旅行へ行った後は、広島で学んできたことをまとめて、全校生に報告をします。

折り鶴を全校生に折ってもらうのですが、朝の時間を利用して、

6年生が手分けして、それぞれのクラスで折り方の説明をします。低学年の子ども達で苦労している子には、6年生が優しく寄り添って教えている姿も見られました。こうし



て折りあがった鶴を額の中に並べていき、平和を願う作品としました。そして、出発前に全校朝会で披露して、「HEIWAの鐘」の歌を歌い、決意表明をしました。（その時の「行ってきます」集会の歌声は、ホームページにアップしています。）



さて、修学旅行当日新幹線と路面電車を乗り継ぎ、平和記念公園に着き、まず「原爆の子の像」の前で、平和式典を行い、折り鶴を捧げました。この「原爆の子の像」は、佐々木禎子さんをはじめ原爆で亡くなった多くの子どもの霊を慰め、世界に平和を呼びかける目的で、建てられたものです。佐々木禎子さんは、2歳の時に被爆したけど、けがもなく元気だったのに、10年後の小学校6年生のときに突然白

血病になり、短い生涯を終えました。禎子さんは「鶴を千羽折ると病気が治る」と信じ、葉の包み紙や包装紙で1300羽以上の鶴を折り続けました。そして、その死後同級生達が全国へ呼びかけて募金を集め、「原爆の子の像」が建てられたのでした。禎子さんが折った折り鶴も平和記念資料館に展示してありました。

その後6年生は、被爆者の方の話を聞き、当時の悲惨な様子を知りました。そして資料館を見学して、公園の碑めぐりをしました。



県民の浜 蒲刈「輝きの館」に宿泊し、2日目は、いろいろな体験活動をしました。古代から作られていた藻塩を同じような方法で作りました。浜遊びでは、ずぶ濡れになって遊ぶ子達もいました。そして、

カッター体験では、力を合わせてオールを漕ぐ体験をしました。2日間良い天気にも恵まれて、充実した2日間でした。



※教育実習生がきています

10月2日（月）から10月27日（金）の4週間、大和大学の 大竹 沙結梨さんを実習生として受け入れています。6年生を中心に実習してもらいますが、将来の先生の育成に、学校全体で取り組んでいきます。